



2017年 2月3日 金曜日
(平成29年)

知・技の創造

▷24◁

■木造建築から森林を想う 計者や職人の技術・技能によ
本年で阪神淡路大震災から 22年目を迎えました。私は高
校卒業後の1995年1月17 日、神戸でがれきや木の廃
材等を目の当たりにして建築 を志しました。

木材の背景である森林は日 本の国土の約7割を占めま す。何十年以上もかけて生育 した樹木が木造建築としてあ るとすれば、私たち人間は樹 林の整備が滞る状況もありま 得るべきでしょう。樹木が伐 採されて木材に加工され、設

た木造建築を人々が長く使い 続けることで愛着が湧き、森 林に思いを馳せて豊かな心を 育みます。

■可視化の効用
私は心理学的な観点から質 数でも質を深めた調査研究で いやらしい、面白いなどの気

戸田都生男 建設学科准教授

木・森・人を見る質的研究



とだ・つきお 1975年生まれ。大阪芸術大学建築 学科卒業、京都府立大学大学院博士後期課程環境科学専 攻単位取得認定退学、博士(学術)、一級建築士。専門 は木造建築・建築計画・環境心理学。

的な調査研究を重視していま す。理由は研究テーマの「木 のものづくりや木の空間が人間 に及ぼす影響」を分析するに 見があります。作業の得手不 分かちやすいことも学生のモ

チベーションを向上させま ションを向上させ、他者にも 進捗状況や成果が形として現 れることや、作業後道具を 片付けて木くずやゴミを掃除 して整理することも達成感 を得ているようです。つまり、 取り組んだ成果を実感しやす い可視化の効用といえます。

■本質を見抜く
可視化は職場や家庭でも日 常的なことかもしれませんが、 社会的な形成に貢献すること が大切です。例えば、業務 成果や買入物などの特典を 可視化するには、工程表の色 付けや各種ポイントカードで 状況を示すことがあります。 また優秀な成績の人やポイン トが貯まった人には褒賞を与 えることで、個人のモチベー ンが森林を構成するようになり、 やがて個人の姿勢が共感されて 集団の力を導き、持続可能な 社会の形成に貢献することと 望みます。先の阪神淡路大震 災直後は木造の構造的な弱点 も着目されましたが、造り手 の倫理観も指摘されました。 人間がどのような魅力や意義 を感じてものづくりをする か、客観的に物事の本質を見 抜く力を持ちたいものです。